

柔軟な発想で
難加工に挑み続ける

企画力
自信有
オンリー
ワン技術
メイドイン
ジャパン
量産
対応

加工風景

業務
内容

**加工しにくい難削材に
特化して乗り切る**

ステンレスをベースとする特殊鋼の加工が中心。長年の取引先であるバルブメーカーとノズルメーカーからの受注が大半を占める。受注が大幅に増えにくい安定して生き残れるニッチ市場を狙い、リーマン・ショックなどの経済の谷間も乗り越えてきた。

加工しにくい難削材にターゲットを絞っている。耐塩水性や耐薬品性など特殊鋼の加工を安定して受注。最終製品の用途に応じて、形状が同じでも材質が違う注文もある。工作機械側の主軸回転速度や加工物の削り幅など、「良品」と「不良品」の差を生むわずかな違いを蓄積したノウハウで乗り切っている。

強み

**ノウハウの蓄積で
新素材への対応も工夫**

主に受注している特殊鋼の加工は、小ロットでの依頼が大半。参入企業が少ない分野で、ユーザーにとっては貴重な外注先となっている。加工時に刃が欠けやすいなど切削が難しい金属でも、加工方法を工夫して対応する。最近では金属の種類も多様化。加工経験のない材料が支給された場合、それまで手がけた近い素材の加工法から推測して取り組む。蓄積したノウハウで、加工機の刃の欠けやすさ減りなどの条件も予測する。

一度経験すると加工方法がわかるが、再現にとどまらず、より低コストの加工を実現できるよう創意工夫を続ける。

社員
教育

**常識にとらわれない
柔軟な発想を重視**

橋本佳典社長が社員に強く言う言葉が「定義を持つな!」。安全を守るための習慣は不可欠だが、加工技術に関しては結果を決めつけず大胆な手法を取ることが重要だと説く。加工が難しい材料を前に、ときには常識といわれていることと逆のことをやってみることも必要だという。「同じ条件での加工依頼は二度と来ない」という気構えが不可欠で、柔軟性を求める理由でもある。

多種多様に変化する要望に対応するため人材育成も不可欠と考えている。平成27年9月に設置した第2工場（大阪府大東市）で新たに雇用する社員についても基本を教えるながらも、既存の加工情報に頼らない社員に育成する考え。



第2工場

今後の
展望

**新工場で
一貫受注体制も視野に**

第2工場の本格稼働は平成28年の年明けを予定している。既存の工場建物を取得しており、自社の業務改装を進める。また3月には5軸対応のマシニングセンター（MC）を導入するのを機に、旋盤加工とそれ以外の加工を分ける。

品質向上のための寸法安定化、コスト低減のための工程削減に向けて5軸加工機の導入を決めた。本社周辺は住宅が多く工場の拡張が難しいため新工場を設置。将来は溶接や研磨など切削以外の工程も含めた一貫受注体制の構築も視野に入れる。

COMPANY PROFILE

株式会社橋本鉄工所

大阪
27当社の
歴史

初代社長である祖父の橋本由一がバルブメーカーから独立し、そのメーカーから加工依頼をいただいて現在に至ります。難削材の加工に特化し、当初は汎用旋盤のみ使用していましたが、2代目社長である父の橋本由文がNC（数値制御）旋盤を導入。その後、フライス、マシニングセンター（MC）と設備を入れ、より複雑な形状の加工が可能になりました。

多品種小ロットに特化し、耐塩水性や耐薬品性の特殊鋼など難削材を高精度で部品加工することを得意にしています。

代表取締役 橋本 佳典さん



■主な事業内容

難削材を対象にした旋盤・マシニングセンターなどによる機械部品製造

■主な取引先（納入先）

バルブメーカー、
ノズルメーカー

住所／〒570-0032
守口市菊水通
2-6-2
TEL／06-6997-1287
FAX／06-6993-0389
創業／昭和26年4月
設立／平成4年4月
資本金／1,000万円
従業員／7名

<http://www.hashimoto-ironworks.co.jp>